

第25回東京国際映画祭 Press Release

2012年8月3日

第23回東京国際映画祭コンペティション部門 審査員特別賞 新藤兼人監督遺作 『一枚のハガキ』 追悼上映決定

新藤次郎プロデューサーをお招きしたトークイベント併催決定

平素よりお世話になっております。

第25回東京国際映画祭(以下TIFF、10月20日(土)~28日(日)開催)が会期前に開催しておりますプレイベント上映会にて、去る5月29日に100歳で逝去された新藤兼人監督遺作『一枚のハガキ』の追悼上映を行うことが決定いたしました。

『一枚のハガキ』は、第23回(2010年)東京国際映画祭コンペティション部門にて審査員特別賞を受賞。公式記者会見では新藤監督ご自身が「これが人生最後の作品です」と満場の観客に向かって語りかけられました。

新藤監督作品は約60年間で49本、映画脚本は200本以上にのぼり、東京国際映画祭でも第3回(1989年)「NIPPON CINEMA NOW」にて上映された『さくら隊散る』をはじめ多くのご出品をいただきました。上映当日は、新藤監督の御子息である新藤次郎プロデューサーにご登壇いただいでトークイベントも開催、映画を撮ることに生涯の情熱を傾け、最後まで現役を貫かれた新藤監督のお姿を、その作品の魅力とともに改めて振り返る予定です。



©2010 TIFFF

<上映スケジュール>

- 【開催名】 Kissポート財団・東京国際映画祭共催企画・第25回東京国際映画祭プレイベント上映会
- 【日時】 2012年9月29日(土) 16:00開演 (15:30開場)
- 【場所】 赤坂区民センターホール (港区赤坂4-18-13 赤坂コミュニティプラザ3F Tel03-5413-2711)
- 【内容】 『一枚のハガキ』上映 (114分)
終映後ひきつづき、ゲストによるトークイベントを開催いたします。
- 【ゲスト】 新藤次郎氏 (プロデューサー、(株)近代映画協会社長)
聞き手: 矢田部吉彦(TIFFプログラミング・ディレクター)

■プレイベント上映会: 東京国際映画祭に港区会場が加わったのを機にスタートした、港区との共催企画による一般招待制上映会。

本年度は9/29(土)、9/30(日)2日間の開催予定。



『一枚のハガキ』

■監督・脚本・原作: 新藤兼人 ■出演: 豊川悦司、大竹しのぶ、六平直政
今年5月に100歳で逝去した新藤兼人監督の遺作。2010年の第23回東京国際映画祭で審査員特別賞を受賞し、当時監督自身が、映画人生最後の作品と語った。戦争の惨禍は一兵士の戦にとどまらない。大黒柱を失った家族は破壊される。庶民一人ひとりからみた戦争被害を最後の作品のテーマとした。©2011「一枚のハガキ」近代映画協会/渡辺商事/ブランドス

<ご掲載用お問い合わせ先: 第25回東京国際映画祭オフィシャルHP: <http://www.tiff-jp.net>

■イベントタイトル: 第25回東京国際映画祭 プレイベント上映会

■開催期間: 10月20日(土)~10月28日(日) 9日間 ■会場: 六本木ヒルズ(港区)ほか

■オフィシャルHP: <http://www.tiff-jp.net> ■併設マーケット: TIFFCOM2012(10月23日(火)~25日(木)) <http://www.tiffcom.jp>

※第25回東京国際映画祭 ラインアップ発表記者会見は9月20日(木)を予定しております。

<お問い合わせ>東京国際映画祭事務局 コミュニケーション広報グループ 宣伝チーム (青木)

TEL: 03-3553-4793 FAX: 03-3553-4788 E-mail: tiff-pr@tiff-jp.net

※素材はイメージネットからダウンロードをお願い致します。 www.image.net